

施策評価調書

施策名	1-4-1	災害に強い水道施設の整備	施策を取り巻く環境変化	石綿セメント管更新事業について、平成20年度から国庫補助事業として事業を実施してきましたが、平成23年度で補助事業が終了することになりました。 石綿セメント管更新事業は、「災害に強い水道施設の整備」には欠かせない事業であるため、更新事業の一部については、緊急時給水拠点確保等事業として国庫補助事業の採択を受け、着実に事業を実施していきます。
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ P. 25		
担当部課	建設産業部 上下水道課	担当 リーダー	建設整備担当 阿久津幽樹	

1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	22.6% 第4位/全36項目 (効率的で災害に強い水道整備)	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
優先度	44.3% 第25位/全36項目 (効率的で災害に強い水道整備)	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの

優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
指標1: 浄水場・配水池の耐震化率 (分母:4配水区×2施設): (%)	21年度までの実績	計画	37.5%	50.0%	75.0%	100.0%	100.0%
	37.5%	実績	↑ 50.0%	%	%	%	%
指標2: 石綿セメント管更新整備率 (計画延長:25.616Km): (%)	21年度までの実績	計画	70.4%	77.3%	88.6%	100.0%	100.0%
	47.2%	実績	↓ 70.1%	%	%	%	%
指標3: 水量・水圧不足解消進捗率 (総延長:10Km): (%)	21年度までの実績	計画	49.6%	59.3%	70.3%	83.1%	100.0%
	43.6%	実績	→ 49.6%	%	%	%	%
指標4:		計画					
		実績					
指標5:		計画					
		実績					
指標に関する特記事項	○平成23年度までの実績算式 指標1: 4施設÷8施設=50.0% 指標2: 17,950m(更新延長)÷25,616m(全体延長)=70.1% 指標3: 4,962m(整備延長)÷10,000m(全体延長)=49.6%						

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どおりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		当初	195,500			
	決算					

4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

5. 施策評価

		後期計画における施策展開のビジョン	H24年度の狙い
自己評価(部)	H22事後評価	<ul style="list-style-type: none"> ・浄水場・配水池の耐震化は、宝石台配水池の耐震診断を実施し、浄水場建設の設計業務を、平成24年度に実施することとしました。 ・石綿セメント管更新事業は、地域住民に工事概要を周知し、交通対策等について理解を得て工事を実施しました。宝積寺地区は複数の給水管に替えて一つの配水管にする工事と一体的に実施し、工事期間の短縮・建設コストの削減を図りました。 ・中阿久津配水池に濁度計を設置するための設計を行い、平成23年度に工事を行うこととしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仁井田配水池において、浄水場の耐震補強工事、濁度計と緊急遮断弁の設置工事を集中して実施します。補強工事により、施設の被害と断水による影響を最小限にすることができます。また、濁度計を設置することで水質管理が強化され、緊急遮断弁を設置することで、非常時用の水の確保を図ります。 ・宝石台配水池の浄水場建設、濁度計設置と緊急遮断弁設置の設計を行なうことで、平成25年度早期にまとめて工事を発注することができます。 ・主に中区・北区の石綿セメント管更新事業と複数の給水管を一つの配水管にする工事を下水道工事と一体的に実施し、工事期間の短縮と建設コストの削減を図ります。
	H24事前評価	<ul style="list-style-type: none"> ・浄水場・配水池の耐震化は、宝石台浄水場の設計と仁井田浄水場の補強工事を実施します。あわせて仁井田配水池に水質管理を強化するための濁度計の設置と配水池から水の流出を防ぐための緊急遮断弁の設置工事を行ないます。 ・石綿セメント管更新事業の国庫補助は平成23年度で終了しましたが、可能な補助事業の採択を受け、下水道工事や市街地管網整備事業と一体的に工事を実施し、工事期間の短縮・建設コストの削減を図ります。 	
		総合評価	施策傘下事務事業に係る個別指摘事項
総合評価(町長)		前期計画の達成状況を踏まえ、配水施設の耐震化等、継続的に施策展開されていることを評価する。 他施策との事業調整を密にし、連携のとれた施策展開を図りたい。	全て「継続事業」とする。